

38 ヨシダカワザンショウ (カワザンショウガイ科)

兵庫県ランク:B

*Angustassiminea yoshidayukioi*

環境省ランク:NT

種の概要

北海道南部から九州にかけての内湾に流入する河口のヨシ帯に広く分布する。主にヨシ帯の礫下や漂着物の下などにサツマクリイロカワザンショウ(貝類Cランク)などと混生している。殻高3mm程度で、本属においては小型の部類である。螺管の膨らみは強く丸みがある。殻は薄質で透明感があり、狭い臍孔が開く。殻表面は茶褐色から赤褐色で光沢を有するが、侵食されている場合も多い。臍域はやや淡色になる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○	○			○

県内分布

加古川市、たつの市、赤穂市

県内における生息状況及びその他特記事項

AからBに変更。加古川が模式産地であるが、ここ10年近く確認できていない。反面、中川水系や赤穂市境界の汽水域では局所的に普通に産し、河口干潟の主にヨシ帯の比較的潮位の高い所にある漂着物の下などに生息する。

保護上の留意点

河口等の干潟においてヨシや塩生植物が生え、その底床は小礫混じりの砂泥で、かつヨシの枯れ茎などの植物残骸などがある程度堆積している環境が必要となるので、埋め立てや浚渫、強度な護岸工事による消失を避ける。



写真提供：増田修



【執筆者】 増田修